演習編　３　甲南大学

特色・対策

▼現代文・古文１題ずつの出題で、マーク・記述の併用である。

▼書き取り・読み・内容説明・空欄補充・内容真偽が中心で、**箇所指摘や指示内容で抜き出す問題**もある。

▼漢字は読み書きともに標準レベルで、**カタカナ語の問題**も出される。

▼古文は語意・文法・口語訳・修辞法などの問題が中心で、**口語訳や語の読みなどで記述問題**がある。古文では助動詞の識別と基本単語の正確な力を身につけたい。

漢字　次の～の傍線部の片仮名を漢字に改めよ。

□ ① 責任を**カイヒ**する。

② 私生活に**カンショウ**する。

③ 彼は早**ガテン**が多い。

④ 労使交渉の**ドヒョウ**にあがる。

解答

**①回避　②干渉　③合点　④土俵**

□ ① 寸法通り**サイダン**する。

② シャツのほころびを**ヌ**う。

③ 重大な使命を**オ**びる。

④ **シジョウ**の喜びを感じる。

解答

**①裁断　②縫　③帯　④至上**

□ ① **ソッキョウ**で和歌をよむ。

② 少年時代を**ソウキ**する。

③ **ヨクヨウ**のきいた文章。

④ 方針を**ヘンカン**する。

解答

**①即興　②想起　③抑揚　④変換**

□ ① **トトウ**を組んで悪事を働く。

② 大小二校を**ヘイゴウ**する。

③ **キンコウ**を保つ。

④ **センザイ**している能力。

解答

**①徒党　②併合　③均衡　④潜在**

漢字　次の～の傍線部の漢字の読みを平仮名で記せ。

□ ① これが私のエネルギーの**源泉**だ。

② 上の役職に**就**く。

③ 新会社の設立に**参画**する。

④ 事態の**収束**に努める。

解答

**①げんせん　②つ　③さんかく　④しゅうそく**

□ ① 状況をしっかりと**把握**する。

② 彼は流の第八十**宗家**だ。

③ 生活が**破綻**する。

④ 会の方針が**不明瞭**だ。

解答

**①はあく　②そうけ　③はたん　④ふめいりょう**

□ ① 郷土芸能に**造詣**が深い。

② それはいわば社会的**禁忌**(タブー)に通じる。

③ 業態の変化に伴って社員が新陳**代謝**する。

④ **給餌**の時間を守る。

解答

**①ぞうけい　②きんき　③たいしゃ　④きゅうじ**

ことば　次のことわざの意味に最も近いものを、選択肢の中から一つ選べ。

□ **どんぐりのべ**

① イクドウオン　　　　② イミシンチョウ

③ アンチュウモサク　　④ イシンデンシン

⑤ ダイドウショウイ

解答

**⑤大同小異**

①異口同音　②意味深長　③暗中模索　④以心伝心

ことば　次の～□12の傍線部の意味を、それぞれの選択肢の中から一つ選べ。

□ **なにが必要であり、なにが時宜にかなっているかを洞察する必要がある。**

① 時流を超えていること。

② 時間が必要であること。

③ 時好におもねること。

④ 時期がちょうどよいこと。

⑤ 時勢に流されること。

解答

**④**

□□10 **失敗を契機に体制を立て直す。**

① きっかけ　　② 曲がり角　　③ はずみ

④ てがかり　　⑤ よりどころ

解答

**①**

□□11 **論議の口火を切る。**

① 誤った議論をすること。

② 物事をし始めること。

③ 大げさに言いふらすこと。

④ 激しく主張すること。

⑤ 反論の口実を作ること。

解答

**②**

□□12 **それは喫緊の課題だ。**

① 差し迫って大切な。

② 達成が極めて困難な。

③ 忍耐の限度を超えた。

④ 努力を惜しむべきではない。

⑤ 人間の根幹を成す飲食の。

解答

**①**

ことば　次の□13の空欄に入る適切な語を選択肢の中から一つ選べ。□14の空欄は漢字一字を入れよ。

□□13 **この常識を覆して「開かれながら閉じ、閉じながら開く」という［　　　　　］のうえに危うく成り立つのが風景庭園であった。**

① アンチテーゼ　　　　　② カテゴリー

③ イデオロギー　　　　　④ パラドックス

⑤ アイデンティティー

解答

**④**

□□14 **「広報活動が功を［　　　　　］したと考えられる」を「効果があった」という意味の慣用表現に完成させる。**

解答

**奏**

ことば　次の文の空欄に入る適切な四字熟語を、後の漢字群から選んで完成させよ。ただし、同じ漢字を複数回用いてもよいものとする。

□□15 **クリエイティブな知にしても、お笑い芸人たちの［　　　　　］なボケやツッコミや、大喜利での解答にしても、まさに身体知である。**

**果　不　機　忍　自　応　抜**

**因　臨　幻　堅　愛　変　降**

解答

**臨機応変**

ことば　次の空欄Ｘ・Ｙに入る語の組み合わせとして最も適切なものを、選択肢から一つ選べ。

□□16 **「［　Ｘ　］」という言葉がある。一人より数人の方がよりよい決定ができるという意味である。一方、「［　Ｙ　］」というもある。先導者が多すぎると、決定ができないと言うことだ。**

①　Ｘ＝雨後の竹の子

　　Ｙ＝花も実もある

②　Ｘ＝雨後の竹の子

　　Ｙ＝どんぐりのべ

③　Ｘ＝枯れ木も山のにぎわい

　　Ｙ＝船頭多くして船山に登る

④　Ｘ＝枯れ木も山のにぎわい

　　Ｙ＝どんぐりの背比べ

⑤　Ｘ＝三人寄れば文殊の知恵

　　Ｙ＝船頭多くして船山に登る

⑥　Ｘ＝三人寄れば文殊の知恵

　　Ｙ＝花も実もある

解答

**⑤**

古文　次の□17～□20の傍線部の解釈や意味として最も適切なものを、それぞれの選択肢の中から一つ選べ。

□□17 **あさましくめづらかに覚えて、さまざまに疑ひをなす。**

① 意外なくらい嘆かわしくて

② ありえないことだと驚いて

③ めずらしくおもしろいと思って

④ 思いがけずいやしいと感じて

⑤ 目新しくすばらしいと知って

解答

**②**

□□18 **過ぎ別れぬること、かへすがへすほいなくこそおぼえ侍れ。**

① 残念だと　　　② 期待通りに　　③ 憂鬱に

④ 他人ごとに　　⑤ 心を隠して

解答

**①**

□□19 **なかなかかひなきことは聞かじなどして、出でたまひにけるなめり。**

① かなり良い知らせでなかったならば聞きたくない。

② かなり悪い知らせでない場合に限り聞きたい。

③ 思いのほかに良い報告をなんとしてでも聞きたい。

④ 現実を打開できない報告を受けたならばもう一度聞き直そう。

⑤ なまじっか聞いても仕方のない報告などは聞くまい。

解答

**⑤**

□□20 **この坊に住む人、あるいは病を受け、またはものにかれ、さらに住む人なし。**

① それ以上に住む人はいない。

② そのように住む人はいない。

③ まったく住む人はいない。

④ まっさらな土地に住む人はいない。

⑤ それほど住む人はいない。

解答

**③**

古文　次の文の傍線部Ｘ、Ｙの意味として、最も適切な組み合わせを選択肢の中から一つ選べ。

□□21 **Ｘ夜もすがら、雪の中をさまよはれけるが、小関の方へはおはせずして、小平といふ山寺の麓の里へ迷ひ出づ。Ｙほのぼののことなるに、小家の軒の下に立ち寄りて、聞き給へば、…**

① Ｘ＝宵のうち　Ｙ＝明け方

② Ｘ＝宵のうち　Ｙ＝日が高くなった頃

③ Ｘ＝真夜中頃　Ｙ＝明け方

④ Ｘ＝真夜中頃　Ｙ＝日が高くなった頃

⑤ Ｘ＝一晩中　　Ｙ＝明け方

⑥ Ｘ＝一晩中　　Ｙ＝日が高くなった頃

解答

**⑤**

古文常識　次の□22～□24のそれぞれの設問について答えよ。

□□22 **「さみだれやのぬけ行く琴のり」の句の「さみだれ」について、**

① 漢字に改めよ。

② 「さみだれ」の表す季節を記せ。

解答

**①五月雨**

**②夏**

□□23 **「濃き紫の指貫に、姿いとをかしげにて」の「指貫」について、**

① 読みを現代仮名遣いの平仮名で記せ。

② この語の説明として最も適当なものを次の中から一つ選べ。

　ア 身分のある人がはく、にが通された。

　イ 公家が非常の参内の際に身につけた衣。

　ウ くくり袖で胸ひも、菊じがある衣。

　エ 成人後の男子がつける帽子の一種。

　オ 宮廷の行事の際に身につける正式の装束。

解答

**①さしぬき**

**②ア**

□□24 **次の語の読み方を現代仮名遣いの平仮名で記せ。**

① 几帳　　② 僧都　　③ 舎人

解答

**①きちょう　②そうず　③とねり**

文法　次の□25・□26の傍線部と文法的に同じものを、それぞれの選択肢の中から一つ選べ。

□□25 **「にや御たづねあるべからむ」と申させ給ひければ、「さもはべりなむ」とて、を勅使につかはされけり。**

① 待つ山ほととぎすうち羽ぶき今も鳴かなむの古声

② 橋を八つ渡せるによりてなむといひける。

③ 心憂く悲しきことも多くなむありける。

④ 子といふもの、なくてありなむ。

⑤ わびぬれば身をうき草の根を絶えてさそふ水あらばいなむとぞ思ふ

解答

**④**

強意（完了）の助動詞「ぬ」の未然形＋意志（推量）の助動詞

①あつらえ（他に対する願望）の終助詞　②係助詞　③係助詞　⑤ナ変動詞「ぬ」の未然形の活用語尾＋意志の助動詞「む」

□□26 **すずろに涙のみぞ流れ出づるや。**

① 国、八橋といふ所にいたりぬ。

② 一つをおろかにせむと思はむや。

③ 親たちははやううせ給ひにき。

④ たけき者もつひには滅びぬ、

⑤ 人の音する方と見るに、いささかのもせず。

解答

**②**

形容動詞「すずろなり」の連用形の活用語尾

①格助詞　②形容動詞「おろかなり」の連用形活用語尾　③完了の助動詞「ぬ」の連用形　④副詞の一部　⑤接続助詞

文法　次の□27～□29の傍線部の文法的説明を、例にならってそれぞれの空白部①～③を埋める形で記せ。ただし、②には動詞の終止形が入る。

（例）［　カ行四段　］活用の動詞「［　行く　］」の［　終止　］形

［　　①　　］活用の動詞「［　　②　　］」の［　　③　　］形

□□27 **の几帳、かうのけうらにて、ふるめかしきのなかば絶えにけるも、**

解答

**①ヤ行下二段　②絶ゆ　③連用**

□□28 **隣りの人の教へけるままに、に至りて、たづね合ひて、まさしく対面したりけり。**

解答

**①サ行変格　②す　③連用**

□□29 **忘れずよ野上に茂るわれもかう分けしの露もまだず**

解答

**①ハ行上一段　②干る　③未然**